



素直でいること ～世界基準の考え方～

「失敗は成功の基」という言葉があるが、モノづくりに限ったことではない。失敗は、人の成長に欠かせないものだと考える。

学生時代にアメリカイリノイ州のある牧場にホームステイしたことがある。その地域の日没は20時頃であった。夕食を18時に済ませ、その後スポーツをして遊んでいた。帰宅後、ホストファミリーから「飲み物はいかがか？」と聞かれ、「いいえ」と答えてしまった。習慣として、「遠慮」があり、3回勧められたら頂こうと考えていた。しかし、その後二度と飲み物を勧められることはなかった。この経験から自分の気持ちを素直に表現することとした。

また、アメリカについての初日に体調を崩し、ホテルに着くと、お米が食べたくなり、日本食を買って来てくれた従業員がいた。ホームステイ先へ連絡の仕方がわからず、助けてくれた青年もいた。言葉や文化、見た目が違って、困っている人に手を差し延べてくれる人は、どの国にもいるのである。見た目などの偏見をなくして、素直に自分を出せると、世界を広げられ、成長できるものとする。

親子でスマホの利用について話しましょう！

スマートフォンはオンラインゲームやライブ配信サービス等、子供に魅力的なサービスが受けられます。一方で長時間の利用や高額な請求等のトラブルも多く、親子でスマホの利用について話し合うことが大切です。

【事例】

- ①小学生の息子に古いスマホを使わせたら、ゲームのアイテムを購入するため、カード決済で課金し、「ガチャ」をひいていた。
- ②中学生の娘は音楽配信者を喜ばせたくて、親のカードで「投げ銭」をして、推し活をしていた。

【消費生活センターからのアドバイス】

- 子供に古いスマホを渡す前、必ずストアアプリにワンクリック購入（決済情報の登録）の設定が残っていないか確認しましょう。
- 無料ゲームであっても強いアイテムを手に入れるまで課金する、ライブ配信サービスではファン同士が「投げ銭」で競争する等、はまりやすく依存症になるケースもあります。親子でルールを決め見守ることが大切です。
- 子どもが親のカード情報や携帯電話のキャリア決済を利用し、勝手に課金してしまう事例もあります。暗証番号をしっかりと管理し、毎月の明細を確認しましょう。

未成年者取消しが認められる場合もあります。不安があれば消費生活センターにご相談ください。

1人で悩まず すぐ相談！

消費者ホットライン 松伏町消費生活センター

188 局番なし 又は ☎984-7208

人権 それは愛

おじいちゃん

問合せ 教育文化振興課 ☎991-1873
企画財政課 ☎991-1815

わたしの家には、おじいちゃんとおばあちゃんがいます。お母さんがしごとをしているので、わたしは、赤ちゃんのころからずっと、おじいちゃんとおばあちゃんのお世話になってきました。

わたしがびょう気になった時、びょういんにつれて行ってくれたこともあるそうです。

ようち園のころは、毎日バスまでおくってくれたり、むかえにきたりしてくれました。

夏には、「海でおよぐと体がじょうぶになるから。」と言って、とまりがけで海水よくにもつれて行ってくれました。わたしは、毎年このりょ行がとても楽しみでした。

ずっと元気だったおじいちゃんがびょう気になってから、ゆびがふじゆうになってしまいました。歩く時は、つえをつかいます。前より体が小さくなってしま

ったような気がします。顔がとてもやさしくなりました。

わたしは、おじいちゃんがあけられないでいるびんのふたをあけたことがあります。またおじいちゃんにかわって、おへやの電気をけしてあげます。こんな時、おじいちゃんは、

「A子、ありがとう。」

と言って、よろこんでくれます。

わたしには、とてもかんたんなことでも、おじいちゃんにとっては、たいへんなことだとしりました。だからわたしは、もっとおじいちゃんのやくにたつことをたくさん見つけてやってあげようと思います。

これからは、おじいちゃんのような人を見たら、自分からすすんでお手つだいをしてあげたいと思います。

人権作文集～ころ～ より